

一般撮影領域における金属フィルター用いた患者被ばく低減の検討

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。
本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	一般撮影領域における金属フィルター用いた患者被ばく低減の検討
倫理審査受付番号	第3511号
研究期間	2020年 5月倫理審査承認日～2022年12月31日
研究対象情報の取得期間	下記の期間に、当院を受診された患者さん（全診療科、全疾患） 2019年 9月 1日～2022年11月30日
研究に用いる試料・情報	カルテ情報、撮影条件
研究概要	（研究目的、意義） 一般撮影領域では、X線管球に金属フィルターを付加することで被ばく線量の低減が可能であると知られています。一方

で金属フィルターを付加することにより、画質に影響があることも知られています。
そこで金属フィルターを用いた際の被ばく低減効果と画質に与える影響を把握するとともに、患者さんの被ばく低減を目的に、より良い撮影条件の決定を行う。

（研究の方法）
患者さんの臨床データから体形ごとの撮影条件を取得し、それぞれの被写体厚に対応した人体模擬ファントムを作成します。
作成したファントムを金属フィルターを付加して撮影した時の撮影条件から、撮影条件が臨床使用可能なものか判断します（撮影時間、管球負荷を考慮）。
得られた画像に対し、コントラスト等の画質指標の算出、視覚評価を行い金属フィルターが画質にどのように影響を及ぼすのかを検討します。
最終的に得られたデータから総合的に撮影条件の決定を行います。

（個人情報の取り扱い）
個人を特定できないよう匿名化した状態で情報を扱います。もし匿名化以前に参加拒否の申し出があった場合は、その情報を使用しない。
なお国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

本研究に関する 連絡先	兵庫医科大学病院 放射線技術部 琴浦 規子（研究責任者） 和田 悠哉（研究担当者） TEL （平日 9：00～17：00） 0798-45-6150 （上記時間以外） 0798-45-6259
----------------	---